⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、前年同期の１兆1,737億円の受取超過から、１兆1,336億円の支払超過となった。収入は、前年同期（３兆8,380億円）に比べ、1,841億円減少して３兆6,539億円となった。一方、支出は、前年同期（２兆6,643億円）に比べ、２兆1,233億円増加して４兆7,875億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

社会資本整備事業の収支は、収入3,417億円、支出１兆3,113億円、差引き9,696億円の支払超過であって、前年同期（8,555億円の支払超過）に比べ、1,141億円支払超過額が増加した。

保険の収支は、収入８兆8,869億円、支出17兆152億円、差引き８兆1,283億円の支払超過であって、前年同期（８兆1,683億円の支払超過）に比べ、400億円支払超過額が減少した。

３　国債等・国庫短期証券等

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第１・四半期			前年同期		
	発行(借入)	償還	差引き	発行(借入)	償還	差引き
国債等	356,748	196,524	160,224	327,806	182,848	144,959
国債(１年超)	345,298	187,232	158,066	318,277	182,537	135,740
借入金	11,450	9,292	2,158	9,529	311	9,218
国庫短期証券等	1,072,509	876,794	195,715	1,082,951	1,073,229	9,723
国庫短期証券	943,509	750,794	192,715	967,451	957,729	9,722
一時借入金	129,000	126,000	3,000	115,500	115,500	0

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は16兆224億円の受取超過であって、前年同期（14兆4,959億円の受取超過）に比べ、１兆5,265億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行34兆5,298億円、償還18兆7,232億円、差引き15兆8,066億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆1,450億円、償還9,292億円、差引き2,158億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、19兆5,715億円の受取超過であって、前年同期（9,723億円の受取超過）に比べ、18兆5,992億円受取超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行94兆3,509億円、償還75兆794億円、差引き19兆2,715億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入12兆9,000億円、償還12兆6,000億円、差引き3,000億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	△ 59,295	△ 125,877	△ 185,171
特別会計等	△ 125,335	85,205	△ 40,130
財政投融資	△ 583	17,470	16,887
社会資本整備事業	△ 9,696	4,606	△ 5,090
外国為替資金	△ 11,336	△ 19,045	△ 30,381
保険	△ 81,283	81,023	△ 260
その他	△ 22,436	1,150	△ 21,286
小計	△ 184,630	△ 40,672	△ 225,302
国債等	160,224	△ 10,255	149,969
国庫（１年超）	158,066	△ 9,874	148,192
借入金	2,158	△ 381	1,777
国庫短期証券等	195,715	50,926	246,641
国庫短期証券	192,715	55,987	248,702
一時借入金	3,000	△ 5,060	△ 2,060
合計	171,309	—	171,309
調整項目	△ 2,249	—	△ 2,249
総計	169,060	—	169,060

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第１・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 173,309	△ 11,121
特別会計の債券売・買（△）	36,763	30,758
財政投融資	220	19,890
国債整理基金	36,543	10,868
その他	△ 37,136	△ 46,019
計	△ 173,682	△ 26,382

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、17兆3,682億円の支払超過であって、前年同期（２兆6,382億円の支払超過）に比べ、14兆7,301億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達４兆4,774億円、資金返済21兆8,083億円、差引き17兆3,309億円の支払超過であって、前年同期（１兆1,121億円の支払超過）に比べ、16兆2,188億円支払超過額が増加した。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買の状況をみると、３兆6,763億円の受取超過であって、前年同期（３兆758億円の受取超過）に比べ、6,005億円受取超過額が増加した。財政投融資は、220億円の受取超過であって、前年同期（１兆9,890億円の受取超過）に比べ、１兆9,670億円受取超過額が減少した。国債整理基金は、３兆6,543億円の受取超過であって、前年同期（１兆868億円の受取超過）に比べ、２兆5,675億円受取超過額が増加した。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、３兆7,136億円の支払超過であって、前年同期（４兆6,019億円の支払超過）に比べ、8,882億円支払超過額が減少した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（16兆9,060億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（2,249億円の支払超過）を除いた収支は、17兆1,309億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、17兆3,682億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（１兆4,968億円）に比べ、2,374億円減少して１兆2,594億円となった。